

様式第 3 号

議 事 録

会議名	令和 3 年度川西市総合教育会議(第 1 回)		
事務局(担当課)	企画財政課		
開催日時	令和 3 年 11 月 18 日(木) 16 時 30 分から 17 時 30 分		
開催場所	川西市役所 4 階 庁議室		
出席者	委員	川西市 越田市長  川西市教育委員会 石田教育長、坂本委員、治部委員、佐々木委員、倉見委員	
	関係職員	石田総合政策部長、中西教育推進部長、山元こども未来部長	
	事務局	総合政策部企画財政課 今岡課長、高橋	
傍聴の可否	可	傍聴者数	2 人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	1 開会 2 議事 教育課題への取り組みについて 3 その他		
会議結果			

## 会議経過

発言者	発言内容等
事務局	令和3年度第1回川西市総合教育会議を開会する。開会にあたって、総合教育会議の主宰者である越田市長から挨拶をお願いする。
市長	倉見委員が、新たに教育委員に就任いただいた。オンライン授業をどうやって導入するのか等教育環境が変化している中、今回特に幼児教育の部分も含めた内容について、意見交換し、方向性を打ち出していければと思っている。
事務局	会議の進行について、市長をお願いする。
市長	では、教育課題の取り組みについて、石田教育長から説明をお願いする。
教育長	大きなテーマではあるが、「幼児教育保育のありかた」について協議したいと考えている。まず、就学前の教育施設の現状について、こども未来部長から説明する。
こども未来部長	<p>5項目の現状について説明する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 市立幼稚園の願書受付状況</li> <li>② 市立幼稚園の入園児童数減少の要因</li> <li>③ 中学校区別就学前児童人口</li> <li>④ 中学校区別就学前児童施設数</li> <li>⑤ 中学校区別就学前児童施設利用定員</li> </ol> <p>一点目の市立幼稚園の願書については、10月7日、8日に受付した。 今年度の4歳児の受付状況は合計23人であり、昨年度の44人に比べて、ほぼ半減している。特に清和台幼稚園は、1人のみであった。清和台幼稚園は、4歳児・5歳児あわせて9人と幼児教育に求められる集団教育機能が十分に発揮できない可能性があるため、合同クラスで検討している。</p> <p>二点目の入園児童数減少の要因としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児教育無償化等により、長時間・長期間への保育へニーズがシフトした</li> <li>・就学前児童人口が減少している</li> <li>・市立幼稚園の今後の方向性が未確定であることへの不安</li> </ul> <p>の三点が考えられる。</p> <p>三点目の中学校区毎の就学前人口については、全体的に減少傾向であるが、明峰・緑台中学校区は、平成31年度4月よりも増加している。</p> <p>四、五点目については、中学校区毎の特徴もあわせて説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川西南…市立の保育園、幼稚園、認定こども園が各1施設ずつであり、1号認定の大半は市立施設が占めている。</li> <li>・川西…市の中心部で利便性も良いため、施設数が多く、私立が大半を占めている。</li> <li>・明峰、緑台…市立の施設なし。</li> <li>・多田…私立幼稚園、こども園なし。1号認定は市立幼稚園のみ。</li> </ul>

発言者	発言内容等
こども未来部長	<p>・清和台…私立幼稚園1園、私立こども園3園と1号認定の利用定員が緑台に次いで多い。</p> <p>・東谷…保育所、認定こども園が共に4園ずつ。2、3号認定の利用定員数が、川西に次いで多い。</p>
教育長	<p>今後の市立の就学前施設のあり方、民間施設との共同について、考える必要がある。本日はこの二点について、協議させていただきたいと考えている。</p>
市長	<p>昨年も市立幼稚園のあり方については、協議していきたい大きなテーマであった。公立が担っていたところを、民間にどのように担っていただくか、そのために市側として、どういったサポートが必要なのか。委員の方に意見を伺いたい。</p>
坂本委員	<p>地元にある幼稚園に行くと、小・中学校と上がるときに、地域のこどもという感覚が芽生えるのではないかと感じる。公立は、幼児教育ではない子供自身の遊びに注目して、子どもを中心に保育をしてくれていると感じている。ただ小学校で、私立の幼稚園や保育所を卒業したこどもと遊ぶ中では、差はないように感じたので、どちらか選べるのがいいと思う。</p> <p>また、公立の保育時間が短いので、もう少し長い時間であれば、公立を希望するような声も周りであった。</p>
治部委員	<p>質を考えるならば、グレーな保育をしている施設をどうするかということだと思う。</p> <p>例えば、公立の質が担保できているところでは、リスク要因がある児童等も比較的安心して育てられるが、包括的な保育機能を実施できていない小規模保育施設や企業主導型保育施設等に行った時にどうなるのかが気になるところである。</p> <p>もし、グレーな保育をしている幼児教育施設があれば、どうやって連携していくかが今回のテーマである民間施設との協働に行き着くのではないかと感じる。</p>
市長	<p>公立の場合であれば、私や教育長といった行政として直接関与できるが、私立はどこまで関与できるかというところを考えていかないといけないと思っている。</p>
佐々木委員	<p>小学校に入る前の貴重な数年間、一定の集団での学びがきちんと確保される必要があることを考えると、資料の入園児童数の少なさに衝撃を受けた。</p> <p>施設の維持等に費用がかかることを考えると、税金を使ってどこまで市で対応すべきかという線引きを考えていく必要がある。</p>
市長	<p>今から白紙で公立・私立を配置できれば公立のセーフティネットの役割も考えやすいが、私立を誘致してきた経緯というものがあるので、公立が少なくなっていく中で、果たすべき役割の部分を深めていく必要がある。</p>
倉見委員	<p>幼稚園の役割、民間との連携をやっていく中で、公立が失ってしまうものをどれだけ維持していくか。時代の流れの中で、質の確保が重要ではないかと感じる。</p>

発言者	発言内容等
市長	<p>時代の流れを的確にとらえ、どのように組み立てていくかを、我々がしっかり提示することが出来れば、不安に思われている方も安心するのではないかと。</p> <p>教育長も含めて担当に何うが、質の担保として、子供たちが幼稚園や保育園に入れない、入れたとしても、本来受けるべき十分な支援がないということあるかと思うが、例えば具体的にどういうケースが考えられるか、また私立幼稚園にどのような視点を盛り込むことが出来たら、保護者は安心できるのか。仮に公立がゼロになった時に、考えられる課題や防ぐ方法というのは、教育委員会の中であるのか。</p>
教育長	<p>公立は、保育園の保育水準を維持するための役割を果たしてきた意義があり、学校でいう特別な支援を要することも私たちは、公立が受け入れている状況ではあると思うので、私立に入りやすくなるような支援を考えていかなければならない。それが、人的な配置なのか、施設に関するものなのか、その辺りは今後協議をする必要がある。</p> <p>また、市の研修にも私立に参加していただき、公立・私立で情報を共有し、ともに学び合いができる仕組みを作っていくことが大事ではないかと思う。</p>
市長	<p>研修で人材を育成していく中で、市として取るべき施策として、認定制度のようなものがあるのか、定期的に全員に来てもらう方がいいのか、リーダーを育成した方がいいのか等、意見を伺いたい。</p>
治部委員	<p>保護者をサポートするという家庭との連携は全面的に必要だと思う。</p> <p>また、子供たちがどのように発達していくかという研修などを行い、単純に集団に参加することだけを促すのではなく、家庭の方針や発達の自由度を考えていく必要があると思う。</p>
市長	<p>現場でのトラブルの話などを伺うと、先生のサポートの仕方や支援を受ける方が悪いとかではなく、選択肢として違うのではないかと感じたことがあるので、一貫した研修体系が必要ではないかなと思っている。公立が縮小していく中でも重点的に取り組んでいきたい。</p>
坂本委員	<p>公立が近くにあることに、皆さん安心感を持たれているように感じる。どこへ行っても安心できるというのがあればいいかと思う。</p>
倉見委員	<p>このような話の場合は、形を決めずにまずは地域の方の話を丁寧に聞くことが大事である。</p> <p>また、研修を市でお膳立てすることは必要かもしれないが、自らが学び考えるという姿勢も持ってもらうことは必要だと思う。</p>
佐々木委員	<p>保護者が気付かなくても先生が気付くことで、発達の検査を受けることができるなど、就学前の施設の役割は重要だと思う。公立は安心と思われている要素は何かという分析がもう少しできれば、連携がもっと進むのではないかと。</p>
市長	<p>私立の不安感を仮に解消するとしたら、どのようなことがあるか。教育推進部・子ども未来部に伺いたい。</p>

発言者	発言内容等
教育推進部長	<p>安心感でいうと、一つは費用面がある。保育料は解消されたが、保育料以外の保護者負担があるということ。</p> <p>もう一つは、子どもへの対応の体制として公立の方が人の配置が手厚いということがあると思う。</p>
こども未来部長	<p>制服など私立の方が、費用面で負担が大きいところ、支援が必要なこどもにも保育をしてくれるという公立の安心感という二点は保護者の意見としても多い。</p> <p>公立は地域の保育の標準を示す位置付けを持って、地域の民間園と連携を図りながら質を高めていくことを、どういった形で再編整備を考えていくかが、課題になってくると思う。</p>
市長	<p>どのような判断をするにしても、私立の実情を把握することが必要だと思うので、そこはお願いしたい。幼児教育が無償化になったことで、足りているという認識なのか。</p>
倉見委員	<p>国としては、幼児教育から大学教育まで、色々な給付金、支援金制度がある。財政等にも限りがあるが、今後も手厚い支援を拡充していく傾向にある。</p>
市長	<p>公立と私立の金額の差が許容できるかできないかなど、家庭によって違ってくると思うので、やはり数字でしっかりと掴んでいく必要がある。</p> <p>今市としても、組織を少しずつ変えていくところであり、組織担当の総合政策部長に説明いただきたい。</p>
総合政策部長	<p>市長の公約の一つでありましたが、途切れのない支援を一元化していくために、障がい児の支援については、来年度からこども未来部で一括していくことを始めていく。</p> <p>ただ、これで終わりということではなく、次年度以降も状況をみながら、組織も変えていく取組を行う予定である。</p>
市長	<p>こども未来部で相談を一元化した上で、例えば発達支援を紹介したりなど、コーディネートする。こどもをどの様に支援するかというコントロールタワーの役割を担っていくようなイメージを持っている。せっかくの機会なので紹介させていただいた。</p> <p>全体を通して、方向性なども含めた意見をいただきたい。</p>
教育長	<p>公立がどういう役割を果たしていて、これからどこが担うのかっていうのが大きな問題だと思う。経済的な支援、特別な支援を要するこどもたちを幼児教育および学校で統一してみたい。</p> <p>私立でも支援が必要なこどもへの教育保育の実績がある中で、保護者がどういったことで不安に感じているがということは深く考えていく必要がある。</p> <p>四つの公立幼稚園がかなり厳しい状況だということは以前から市長も交えて、それぞれの幼稚園で説明に行っている。特に今回清和台については、今後も厳しいことをあらかじめ伝えていた。それが保護者の不安には繋がっていたのかなと思う。</p>

発言者	発言内容等
教育長	<p>その中で今の願書受付数の状況からすれば、令和4年の4月には、方向性を明確にしていく必要があるのではないかなと思っている。様々な意見も出てくるかと思うが、方向性を確定させることが、保護者の安心に繋がっていくと考えている。</p> <p>清和台幼稚園を今後どうしていくのか、あとの3園についても、地域の特性や子育てニーズも踏まえて、教育委員会として一定の方向性を出して、市長とまた協議していきたい。</p>
市長	<p>他にご意見等あるか。</p>
治部委員	<p>市内こども園の実践を拝見して感じる事として、保育の活動内容や、こどもたちの保育環境設定もかなり変化している。職員の声掛けや先輩後輩の研修など様々な形で行っている。今後、公立こども園はセンター的な役割としてモデルとなり、私立が各々の特色を表現した保育を実践して、結果、保育のイノベーションを起こすきっかけになると良いなと思う。グレーな保育を実践している場合は、介入が必要なので、資格制度とか、インセンティブとかを取り入れることも可能ではないかなと思っている。</p>
市長	<p>公立幼稚園の結論がでてから、保護者や市民に説明をしても理解していただけないので、対応策をまず示していきたいと思う。</p> <p>これを持ちまして第1回の総合教育会議を閉会する。本日はありがとうございました。</p>

以下会議の事項を記録し、相違ないことを認めたので、ここに署名いたします。

令和4年3月31日

川西市長 越田 謙治郎

川西市教育長 石田 剛